

平成23年度

宝塚市内訪問看護ステーション

事業実績について

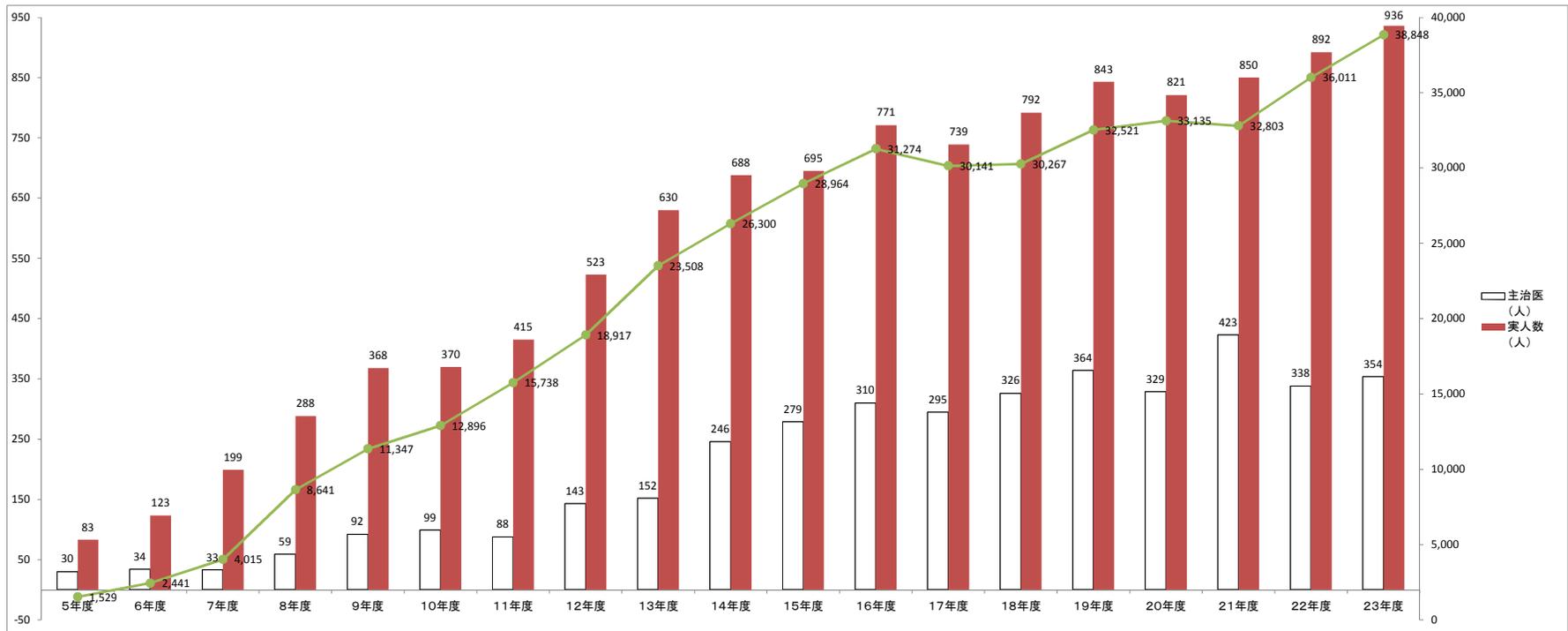
(市内全体のまとめ)

宝 塚 市

宝塚市訪問看護事業の年次推移

訪問看護ステーション別利用状況の年次推移

ステーション名	5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数										
宝塚市訪問看護ステーション	83	1,529	123	2,441	123	2,639	95	2,833	92	2,768																												
ステップハウス訪問看護ステーション					43	796	88	2,842	105	3,874	104	3,892	102	4,037	102	4,145	112	4,651	147	5,530	143	5,703	139	6,204	154	6,644	168	6,653	186	8,134	206	8,940	215	8,314	205	9,264	197	8,288
せいれい訪問看護ステーション宝塚					33	580	100	2,942	106	3,544	89	2,954	84	3,424	161	5,479	211	7,915	206	8,128	205	8,538	250	8,720	221	8,645	208	8,068	203	7,505	255	8,107	247	8,365	251	8,703	236	8,568
ひかり訪問看護ステーション							5	24	27	510	28	865	43	1,435	62	2,439	66	2,140	61	1,921	51	2,200	52	2,054	51	1,550	40	1,773										
せいれい訪問看護ステーション逆瀬川									38	651	66	2,205	58	2,085																								
光明訪問看護ステーション											83	2,980	83	3,079	80	3,063	97	3,254	94	3,188	97	3,892	110	4,055	98	4,005	101	4,050	109	4,507	112	4,499	105	3,724	108	3,780	131	4,861
せいれい訪問看護ステーション花屋敷												45	1,207	66	2,068	64	2,337	66	2,984	83	3,274	101	3,678	94	3,445	105	3,373	112	3,679									
訪問看護ステーションルシエール															17	413	35	1,019	58	1,553	59	2,186	64	2,893	65	2,677	68	2,913	67	3,061	68	3,607	74	3,116	72	3,107	75	3,344
医療生協訪問看護ステーションひだまり															35	1,310	45	2,192	56	2,996	57	3,171	55	3,670	56	3,175	63	2,803	72	2,851	72	3,142	75	3,072	81	3,189	92	3,421
訪問看護ステーション憩																										39	634	94	2,784	108	4,840	134	6,212	175	7,968	205	10,366	
合計	83	1,529	123	2,441	199	4,015	288	8,641	368	11,347	370	12,896	415	15,738	523	18,917	630	23,508	688	26,300	771	31,274	739	30,267	843	32,521	821	33,135	850	32,803	892	36,011	936	38,848				



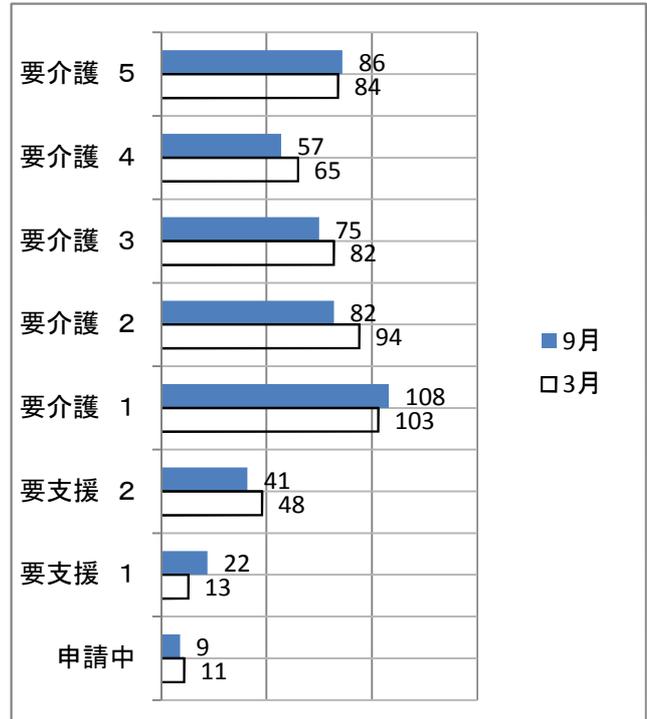
運営実績報告

平成23年度 市内訪問看護ステーション

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	男性	219 (36)	226 (40)	222 (40)	219 (40)	213 (37)	214 (39)	216 (40)	221 (44)	223 (44)	211 (39)	212 (38)	217 (38)	年間利用実人数 (医療保険再掲) 936 (148)	
	女性	343 (42)	343 (44)	345 (41)	352 (45)	358 (50)	357 (52)	357 (50)	354 (47)	362 (50)	354 (50)	359 (45)	367 (47)		
	合計	562 (78)	569 (84)	567 (81)	571 (85)	571 (87)	571 (91)	573 (90)	575 (91)	585 (94)	565 (89)	571 (83)	584 (85)		
新規利用者		22 (4)	34 (8)	30 (4)	33 (6)	32 (8)	32 (6)	37 (8)	38 (8)	36 (9)	29 (4)	30 (2)	33 (8)	386 (75)	
利用終了者		21 (2)	28 (5)	33 (6)	27 (4)	27 (4)	29 (6)	34 (8)	33 (8)	19 (5)	38 (9)	23 (5)	33 (9)	345 (71)	
利用延件数		3163	3191	3375	3212	3434	3305	3251	3245	3206	2953	3124	3389	38848	
(介護保険)															
利用者数		484	485	486	486	484	480	483	484	491	476	488	499	5826	
利用延件数		2485	2525	2670	2575	2745	2565	2600	2610	2535	2371	2553	2789	31023	
(医療保険)															
利用者数		78	84	81	85	87	91	90	91	94	89	83	85	1038	
利用延件数		678	666	705	637	689	740	651	635	671	582	571	600	7825	
常勤換算		42.6	42.5	43.8	42.1	44.4	42.1	43.2	42.8	41.6	39.4	41.0	41.8		
主治医数(市外)		213 (90)	220 (95)	225 (95)	214 (90)	220 (94)	218 (92)	218 (92)	223 (96)	238 (105)	239 (106)	241 (99)	246 (106)	実人数 354 (172)	
実習受け入れ	看護学生	0	6	18	10	0	7	6	7	0	0	0	0	54	総計 66 名
	医学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	
	ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	4	

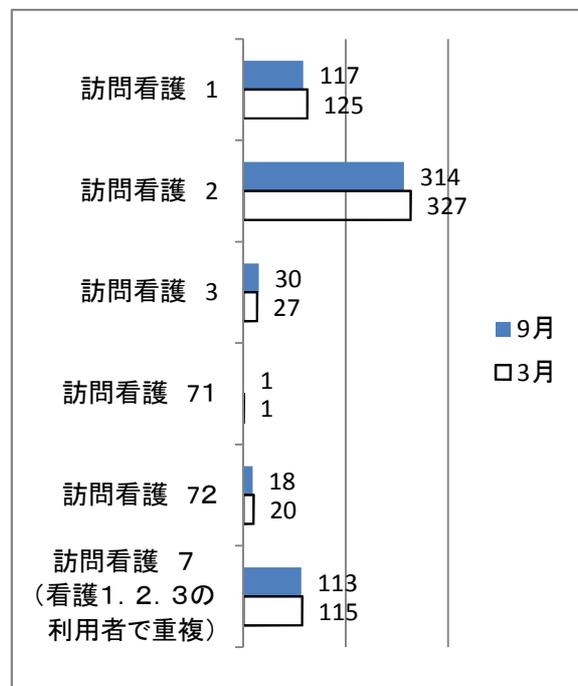
介護保険 要介護度区分

	9月	3月
利用者数	480	500
要介護 5	86	84
要介護 4	57	65
要介護 3	75	82
要介護 2	82	94
要介護 1	108	103
要支援 2	41	48
要支援 1	22	13
申請中	9	11



介護保険 利用区分

	9月	3月
利用者数	480	500
訪問看護 1	117	125
訪問看護 2	314	327
訪問看護 3	30	27
訪問看護 71	1	1
訪問看護 72	18	20
訪問看護 7 (看護1. 2. 3の 利用者で重複)	113	115



- ★ 訪問看護 1 : 看護師30分訪問
- 訪問看護 2 : 看護師60分訪問
- 訪問看護 3 : 看護師90分訪問
- 訪問看護 7 : 療法士(PT・OT・ST)訪問

主傷病の状況①

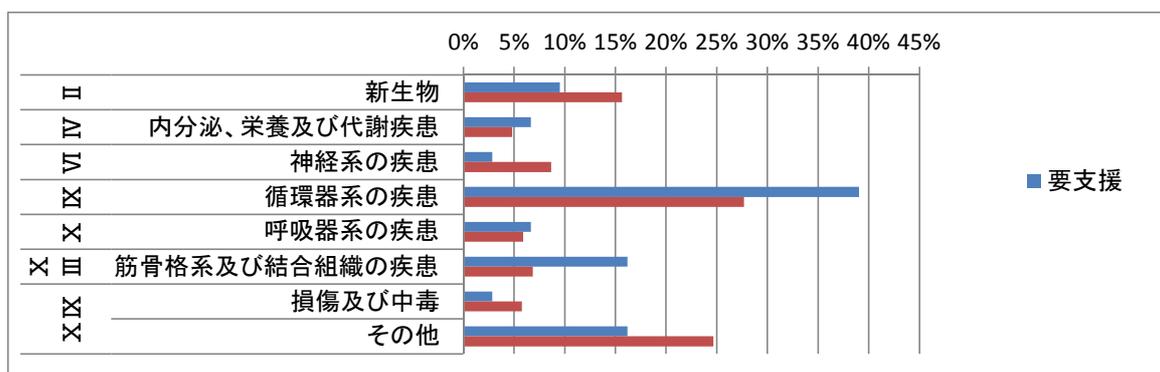
平成23年度

市内訪問看護ステーション

年間利用実人数		936人		要支援		要介護・医療	
疾 病 分 類		利用者数(人)	構成割合(%)	利用者数(人)	構成割合(%)		
		105	100%	831	100%		
I	感染症及び寄生虫症	0	0%	3	0%		
(再掲)	肺結核(陈旧性含む)	(0)	#DIV/0!	(2)	(67%)		
	その他の感染症及び寄生虫症	(0)	#DIV/0!	(1)	(33%)		
II	新生物	10	10%	130	16%		
(再掲)	脳腫瘍	(0)	(0%)	(3)	(2%)		
	呼吸器癌	(1)	(10%)	(20)	(15%)		
	消化器癌	(7)	(70%)	(59)	(45%)		
	泌尿器癌	(1)	(10%)	(19)	(15%)		
	婦人科癌	(0)	(0%)	(12)	(9%)		
	その他の悪性新生物	(1)	(10%)	(16)	(12%)		
	その他の新生物	(0)	(0%)	(1)	(1%)		
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機能障害	1	1%	11	1%		
(再掲)	貧血(鉄欠乏性含む)	(1)	(100%)	(6)	(55%)		
	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機能障害	(0)	(0%)	(5)	(45%)		
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	7	7%	40	5%		
(再掲)	糖尿病(腎障害・神経障害含む)	(6)	(86%)	(40)	(100%)		
	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	(1)	(14%)	(0)	(0%)		
V	精神障害及び行動の障害	11	10%	102	12%		
(再掲)	認知症(アルツハイマー病・脳血管性・ピック病含む)	(7)	(64%)	(65)	(64%)		
	統合失調症	(0)	(0%)	(14)	(14%)		
	気分(感情)障害	(2)	(18%)	(13)	(13%)		
	その他の精神及び行動の障害	(2)	(18%)	(10)	(10%)		
VI	神経系の疾患	3	3%	72	9%		
(再掲)	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	(0)	(0%)	(11)	(15%)		
	パーキンソン病(症候群含む)	(2)	(67%)	(42)	(58%)		
	多系統萎縮症(脊髄小脳変性症含む)	(0)	(0%)	(10)	(14%)		
	その他の神経系の疾患	(1)	(33%)	(9)	(13%)		
VII	眼及び付属器の疾患	0	0%	0	0%		
VIII	耳及び乳様突起の疾患	0	0%	0	0%		
IX	循環器系の疾患	41	39%	230	28%		
(再掲)	高血圧(本態性含む)	(13)	(32%)	(42)	(18%)		
	狭心症・心筋梗塞	(6)	(15%)	(7)	(3%)		
	心不全(慢性・うっ血性含む)	(5)	(12%)	(25)	(11%)		
	脳卒中(後遺症含む)	(13)	(32%)	(135)	(59%)		
	その他の循環器系の疾患	(4)	(10%)	(21)	(9%)		
X	呼吸器系の疾患	7	7%	49	6%		
(再掲)	肺気腫	(3)	(43%)	(13)	(27%)		
	慢性閉塞性肺疾患	(1)	(14%)	(5)	(10%)		
	呼吸不全(慢性含む)	(0)	(0%)	(10)	(20%)		
	その他の呼吸器系の疾患	(3)	(43%)	(21)	(43%)		

X I	消化器系の疾患	3	3%	25	3%
(再掲)	便秘・腸閉塞	(1)	(33%)	(3)	(12%)
	肝硬変	(0)	(0%)	(10)	(40%)
	その他の消化器系の疾患	(2)	(67%)	(12)	(48%)
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	1	1%	15	2%
(再掲)	褥創	(0)	(0%)	(12)	(80%)
	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	(1)	(100%)	(3)	(20%)
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	17	16%	57	7%
(再掲)	関節リウマチ(慢性含む)	(1)	(6%)	(16)	(12%)
	関節症(変形性含む)	(4)	(24%)	(7)	(12%)
	変形性腰(脊)椎症	(7)	(41%)	(5)	(9%)
	脊柱(椎)管狭窄症(脊髄狭窄)	(1)	(6%)	(10)	(18%)
	後縦靭帯骨化症	(1)	(6%)	(4)	(7%)
	廃用症候群	(0)	(0%)	(5)	(9%)
	骨粗鬆症	(0)	(0%)	(0)	(0%)
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	(3)	(18%)	(10)	(18%)
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	1	1%	40	5%
(再掲)	腎不全(慢性含む)	(0)	(0%)	(31)	(78%)
	神経因性膀胱	(0)	(0%)	(6)	(15%)
	前立腺肥大症	(1)	(100%)	(2)	(5%)
	その他の腎尿路生殖器系の疾患	(0)	(0%)	(1)	(3%)
X V	妊娠、分娩及び産褥	0	0%	0	0%
X VI	周産期に発生した病態	0	0%	0	0%
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0%	3	0%
X VIII	症状、徴候及び異常臨床・異常検査所見	0	0%	6	1%
(再掲)	老衰	(0)	#DIV/0!	(5)	(83%)
	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	(0)	#DIV/0!	(1)	(17%)
X IX	損傷及び中毒	3	3%	48	6%
(再掲)	骨折	(3)	(100%)	(34)	(71%)
	脊(頸)髄(椎)損傷	(0)	(0%)	(10)	(21%)
	頭部外傷	(0)	(0%)	(3)	(6%)
	その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	(0)	(0%)	(1)	(2%)

(再掲)	特定疾患	(6)	(6%)	(65)	(8%)
------	------	-----	------	------	------



サービス利用内容 936 名

平成23年度

市内訪問看護ステーション

内訳（重複あり）

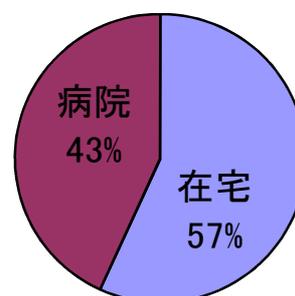
（単位：人）

病状観察	936	医療処置	419
バイタルサインの測定 全身状態の観察		カテーテル類の管理 床ずれや創傷の処置 医療機器装着の方の看護 その他医師の指示による処置や管理	
リハビリテーション	519	療養指導	936
日常生活動作の訓練 関節拘縮の予防と訓練 機能訓練と指導 外出への工夫 福祉機器の選定相談 住宅改修に関する相談		栄養・食事指導 療養環境の整備 内服薬の管理 生活リズムの調整方法 事故防止のアドバイス 社会参加への相談	
介護指導・相談	780	清潔ケア	444
健康相談 介護方法の指導 認知症への対応方法の指導 寝たきり予防の指導 サービス資源の相談 介護用品の相談 介護に関する悩み相談 介護者の休養に関する相談		清拭・洗髪 入浴・シャワー介助 着替え・シーツ交換 口腔ケア・爪切り 手浴・足浴	
排泄ケア	343	緩和ケア	117
排便管理・浣腸・摘便 おむつ交換・陰部洗浄		症状緩和に対する看護・疼痛管理 精神的支援 看取りの体制への相談・アドバイス	
精神ケア（利用者や介護者に対して）	750	他職種との連携	936
コミュニケーションの援助 精神的支援・支持的アプローチ 傾聴・共感		主治医への報告・連絡・相談 ケアマネやサービス事業所との連絡調整 病院や保健師との連携	

ターミナルケアの件数 88 名

<看取りの場所> 在宅 50 名

病院 38 名

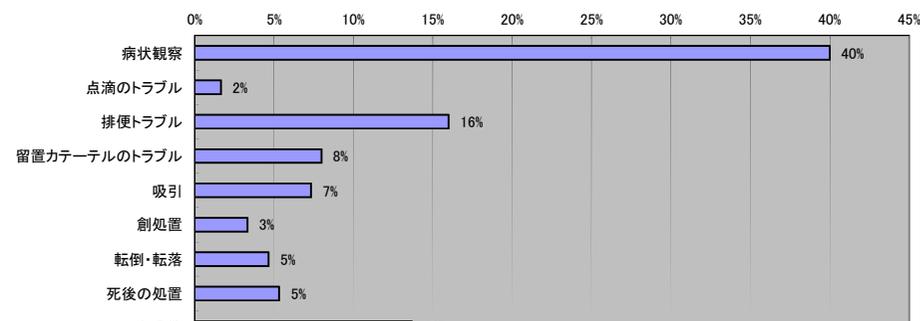
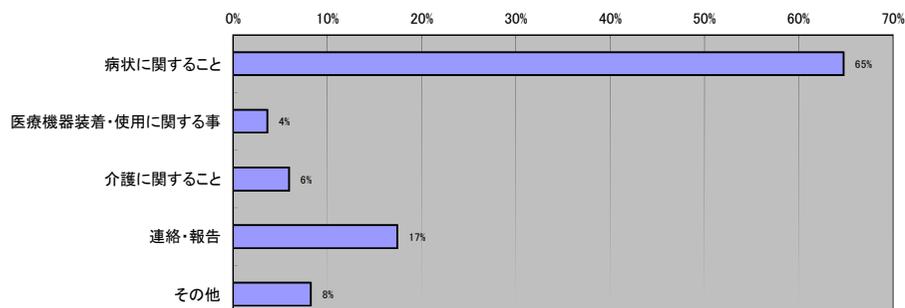


24時間連絡体制実施状況

平成23年度

市内訪問看護ステーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均	
緊急時訪問看護加算契約者数	134	139	135	139	140	138	152	155	152	152	160	161	1757	146.4	
24時間連絡(対応)体制加算者数	40	42	41	44	40	44	40	50	49	47	44	43	524	43.7	
相談件数	40	26	42	75	101	107	72	77	89	55	53	89	826	68.8	
(主) 相談内容 (1つ)	病状に関すること	27	19	32	50	58	79	38	45	59	29	39	60	535	44.6
	医療機器装着・使用に関する事	1	3	2	2	2	0	3	5	5	3	2	2	30	2.5
	介護に関すること	4	2	3	2	10	3	6	5	6	2	3	3	49	4.1
	連絡・報告	4	0	4	11	19	20	18	16	15	18	8	11	144	12.0
	その他	4	2	1	10	12	5	7	6	4	3	1	13	68	5.7
出動件数	11	14	19	40	51	32	27	25	29	14	14	24	300	25.0	
出動内容	病状観察	4	5	7	15	23	14	6	14	13	4	4	11	120	10.0
	点滴のトラブル	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	0.4
	排便トラブル	0	2	2	5	8	8	7	5	3	2	4	2	48	4.0
	留置カテーテルのトラブル	0	2	4	1	2	3	4	2	1	2	1	2	24	2.0
	吸引	3	3	0	1	4	3	1	0	4	0	2	1	22	1.8
	創処置	0	0	1	3	0	3	1	0	1	0	0	1	10	0.8
	転倒・転落	0	1	1	1	1	0	4	1	1	2	1	1	14	1.2
	死後の処置	1	0	2	4	0	0	0	0	3	2	1	3	16	1.3
	その他	2	1	1	10	13	1	4	3	2	2	1	1	41	3.4



平成23年度 統計資料 考察と今後の取り組み課題について

市内の独立型訪問看護事業者のうち、協議会に加入しているステーションは6箇所である。

(平成23年度も増減なし)

意見、感想、考察など

- ・ 毎月、新規と終了の利用者数は同数程度であるが、1年間を通してみると、新規の利用者数が増えている。全体として、利用者数、訪問延べ件数ともに増加傾向である。
- ・ 医療保険利用者数の大きな増減はないことから、医療保険利用者＝ターミナル数とはいえない。むしろ、新規数や終了数の変動の方がターミナル数といえるのではないか？
- ・ 常勤換算数は横ばい～減少傾向であった。利用者数や訪問延べ件数の増加があると考えると、各訪問看護ステーションの活動としては非常に頑張っている反面、慢性的な人員不足があると推測される。

以上のことから、訪問看護の周知がなされてきておりニーズが高まっているが、看護師不足により供給が難しくなってくる可能性が高い。潜在看護師に対し、訪問看護のアピールを行っていくなど、人材確保への対策を行っていく必要あり。

- ・ 要支援の利用者が13%、要介護1～2の利用者が40%、要介護3～5の利用者が45%と介護度が低い方が半数以上占めている。この比率は前年と大きく変化はなし。
- ・ 疾病分類を平成23年度は要支援と要介護(医療含む)に分けて集計を行った。結果、要支援・要介護ともに循環器系疾患が多く、特に要支援については4割が循環器系疾患、次いで筋骨格系疾患(変形性腰椎症や関節症)となっている。要介護(医療含む)の方は前年度と同様、循環器系疾患に次いで新生物が多い。

要支援者に多い循環器系の疾患や筋骨格系の疾患はこのまま放置しておくと生活不活発病などのリスクも高くなり悪化すると要介護状態になる可能性も高い。このことから予防的視点が必要と考えられ、地域包括支援センターへ要介護者を増やさないためにも訪問看護の利用を勧めていく働きかけが大切だと再認識した。また、要支援者に対する訪問看護としての役割は病状観察をはじめ、服薬指導、リハビリテーション、他の社会資源へつなげるためのパイプ、療養指導などが挙げられる。これらのことは前年度仮定したとおりの結果となった。

- ・ サービス内容では介護指導・相談・精神ケアが高い割合であり、医療処置や清潔のケア、排泄関連が5割を切っている。傾向としては前年度と同様であり、サービス内容が指導・相談・精神ケアに重点が移ってきていることを認識した。

- ・ 実人数936人中、精神ケアが750人(約8割)である。訪問看護のかかわりとして精神ケアは必要不可欠と考えている割には2割ほどの利用者に対してケアが実施されていない可能性がある。または、精神ケアの捉え方が各ステーションによって異なる可能性もある。統計をとる中での共通認識を再考する必要があるのでは？
- ・ ターミナルの件数について、前年度は58人→88人に増えている。看取りの場所は在宅57%病院43%で、微減している。

数字としての考察は可能だが、今後の在宅看取りを推進していく為にはターミナルの捉え方の共通理解や在宅看取りができなかった理由など色々と探っていく必要がある。また、訪問看護だけで看取りケアは困難である為、医師や病院などとも、もっと深く一緒に考えていく必要性を感じた。

- ・ 24時間連絡体制実施状況について、契約者割合としては介護保険では全体の3割、医療保険では全体の5割と大きく変動はないものの、利用者数としては昨年10月以降減少しつつ増えてきている。

緊急時の加算数の増加については平成23年度の協議会内での取組み課題としていたこともあり、各ステーションの意識とアピールの成果とも考えられる。合わせて、平成23年度はターミナル件数も多かったため、緊急時の加算数も多かったとも考えられる。平成24年度からは介護保険支給限度枠外となるため、更なる契約数アップを目指し、安心につながるサービスの提供とステーションの経営安定につながることを期待できる。

- ・ 実際の月平均の相談件数としては全体の36%でその内、病状に関する事での相談は65%である。出勤件数は13%で内訳としては病状観察40%、排便コントロール20%となっている。

相談内容、出勤内容ともに病状観察が主となっており、的確な利用方法であると思われる。出勤内容の中で「その他」の件数も毎月のようにあり、「その他」がどのような内容であるか確認し、出勤内容の項目欄の見直し等も必要か検討する。

今年度の取組み課題

- ・ ターミナルケア(在宅看取り)について医師や医療機関と一緒に考えていく。
- ・ 訪問看護師の人材確保、離職率の軽減を目指す取組みを行なう。
- ・ 障害者施策(精神障害者も含む)に対する関わりの強化を行なう。